介護保険負担限度額認定申請書

（申請書）

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費（滞在費）に係る負担限度額認定を申請します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  被保険者氏名 |  | | 被保険者番号 |  |
| 個人番号 |  |
| 生年月日 |  | | 性別 | 男　　　　　女 |
| 住所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先 | | | |
| 入所（院）した介護保険施設の所在地及び名称（※） | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先 | | | |
| 入　所（院  年月日（※） |  | （※）介護保険施設に入所（院）していない場合及び  ショートステイを利用している場合は、記入不要です。 | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 配偶者の有無 | | 有　　・　　無 | 左記において「無」の場合は、以下の「配偶者に関する事項」については、記載不要です。 | |
| 配偶者に関する事項 | フリガナ  氏名 |  | | |
| 生年月日 |  | | 個人番号 |
| 住所 |  | |  |
| 本年１月１日  現在の住所  （現住所と  異なる場合） |  | |  |
| 課税状況 | 市町村民税　　　　　課税　　・　　非課税 | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 収入等に関する申告 | □ | ①生活保護受給者／②市町村民税世帯非課税である老齢福祉年金受給者 | | | | | |
| □ | ③市町村民税世帯非課税者であって、  課税年収額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が  年額８０万円以下です。**（受給している年金に〇して下さい。以下同じ。）**  ※寡婦年金、かん夫年金、母子年金、準母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。 | | | | | |
| □ | ④市町村民税世帯非課税であって、  課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が  年額８０万円を超え、１２０万円以下です。 | | | | | |
| □ | ⑤市町村民税世帯非課税であって、  課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が  １２０万円を超えます。 | | | | | |
| 預貯金等に  関する申告  ※通帳等の  写しは別添 | □ | 預貯金、有価証券等の合計が②の方は１０００万円（夫婦は２０００万円）、③の方は６５０万円  （同１６５０万円）、④の方は５５０万円（同１５５０万円）、⑤の方は５００万円（同１５００万円）  以下です。  ※第２号被保険者（４０歳以上６４歳以下）の場合、③～⑤の方は１０００万円（夫婦は２０００万円）  以下です。 | | | | | |
| 預貯金額 | | 円 | 有価証券（評価概算額） | 円 | その他  （現金・負債  を含む） | （　　　　　　　）※  　　　　　　　　　円  ※内容を記入してください |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者氏名 | 連絡先（自宅・勤務先） | |
| 申請者住所  〒 | | 本人との関係 |

申請者が被保険者本人の場合には、下記について記載は不要です。

注意事項

1. この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
2. 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
3. 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
4. 虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第２２条第１項の規定に基づき、支給された額及び最大２倍の加算金を返還していただくことがあります。